

中学校1年・外国語科 This Is Our School

「ALTの家族に中学校のおすすめの場所を紹介しよう」

使用機器・使用アプリ：プレゼンテーションソフト 学習支援ソフト

〈ICT活用のポイント〉

「話すこと（発表）」の活動において、録画機能を使い、以下のことを実現する。

- ①録画を見て、生徒自身が話した内容や表現などを確認して自己調整できる。
- ②録画を子ども同士が視聴し、互いに評価し合う場面をつくることができる。
- ③指導と評価（指導に生かす評価・記録に残す評価）の一体化を図ることができる。

1 単元名

Unit5 This Is Our School (Here We Go! English Course1)

2 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第1学年） 「話すこと [発表]」

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、メモ等を活用しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容で話すことができる。

3 単元の目標

中学校を知らないALTの家族にわかるように、自分のお気に入りの教室や施設について、情報や自分の考え、気持ちなどを話し、紹介することができる。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・Where や When を使った疑問文、命令文の特徴やきまりを理解している。 ・Where や When を使った疑問文、命令文などを用いて、学校のおすすめの場所について説明する技能を身に付けている。 	<p>中学校を知らない ALT の家族にわかるように、自分のお気に入りの教室や施設について、情報や自分の考え、気持ちなどを話し、紹介している。</p>	<p>中学校を知らない ALT の家族にわかるように、自分のお気に入りの教室や施設について、情報や自分の考え、気持ちなどを話し、紹介しようとしている。</p>

5 単元の指導と評価の計画（全10時間）

時間	目標（◆） 主な言語活動（○）	評価			
		知	思	態	◎評価規準〈評価方法〉
1	◆単元の目標を理解する。				★本時では目標に向けて指導は行いが記録に残す評価は行わない。
2	<ul style="list-style-type: none"> ◆単元全体の内容を聞き、話の概要を捉えることができる。 ◆小学校の学習内容を復習しながら、未習の表現も学習する。 ○本 Unit の場面、話題をつかみ、単元全体の概要を捉える。 ○ALTの家族からのメッセージ映像と情報をもとに紹介したい 				

	学校の教室や施設のアンケートをとる。リスト★を作成。 ※アンケート機能使用				★本時では目標に向けて指導は行 うが記録に残す 評価は行わない。
3	◆教科書 PartI の対話内容を理解し、内容を自分の言葉で話す。 ○新出語句や Where を使った疑問文を教科書本文や言語活動を通して習得する。音読後、本文の内容を自分の言葉で話す。				
4	◆中学校を知らない ALT の家族にわかるように、自分のお気に入りの教室や施設について、情報や自分の考え、気持ちなどを話し、紹介することができる。(※) ◆学校の教室や施設の場所を尋ねたり答えたりできる。 ○ペア活動を通して、場所や施設の言い方を復習する。 ○リスト★から自分が紹介したい学校施設の写真を1つ選び、紹介動画を録画し評価し合う。 ※録画機能 (プレゼンテーションソフト)				
5	◆教科書 Part2 の対話内容を理解し、内容を自分の言葉で話す。 ○新出語句や命令文を教科書本文や言語活動を通して習得する。音読後、本文の内容を自分の言葉で話す。				
6	◆第4時の(※)と同様。 ◆色々な場所での注意書きやアドバイスを伝えることができる。 ○様々な場所における命令文を考え、その命令文から場所を当て合うペア活動を行う。 ○紹介動画を録画し評価し合う。※録画機能 前回とは別の場所				
7	◆教科書 Part3 の対話内容を理解し、内容を自分の言葉で話す ○新出語句や when を使った文を、教科書本文や言語活動を通して習得する。音読後、本文の内容を自分の言葉で話す。				
8	◆第4時の(※)と同様。 ◆学校の各施設をいつ使うか、たずねたり答えたりできる。 ○教科書本文を通して、「いつ」を表す重要表現を習得する。 ○リスト★の各施設を実際いつ使うのか、時間割表や学校行事リストを参考にしながら対話をする。 ○紹介動画を録画し評価し合う。※録画機能 前回とは別の場所				
9	◆学校公開の案内状の内容を読み取ることができる。 ◆好きな学校施設についてインタビューし合うことができる。 ○学校の施設写真を裏返して1枚ずつ引き、その施設について説明する。何回か行う。(即興で話すこと) ○教科書を読み取る中で、本単元の重要表現を振り返る。 ○好きな学校施設について、インタビューを行う。※録画機能			○	◎単元の評価規準の「知識・技能」 〈録画映像、振り返りシート〉
10	◆パフォーマンステスト ○中学校の施設写真を裏返して1枚引き、その施設について1分間説明する。(即興で話すこと) ○自分がお気に入りのまたは ALT の家族に紹介したいと思う教室や施設について2つ話し録画して提出する。※録画機能			○ ○ ○	◎単元の評価規準の「3観点」 〈録画映像、振り返りシート〉

6 本時の学習

(1) 目標

中学校を知らない ALT の家族にわかるように、自分のお気に入りの教室や施設について、情報や自分の考え、気持ちなどを話し、紹介することができる。

(2) 展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点
1分	【Greeting】挨拶をする。	挨拶をする。	
5分	【Warm-up】 Small talk What's your favorite place in your school? Why?"	・ 中間指導を入れる。 ・ 「言いたかったけど、言えなかった表現」を確認する。	
18分	<p>【Today's Goal】ゴールを把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Today's Goal：中学校を知らない ALT の家族にわかるように、自分のお気に入りの教室や施設について、情報や自分の考え、気持ちなどを話し、紹介することができる。</p> </div> <p>・ ALT の家族からのビデオメッセージを視聴する。</p> <p>【Activity 1】 Information Gap 活動</p> <p>・ 「理想の学校施設配置図」を考え、案内図に記入する。</p> <p>・ ペアでやり取りをしながら、互いの学校施設配置図についてたずね合う。</p> <p>・ 相手に分かるように、自分の学校施設について説明する。</p>	<p>・ 本時のゴールを提示する。</p> <p>・ ALT の家族からのビデオメッセージを投影する。 ※教材の提示</p> <p>・ 場所のたずね方や答え方を復習する。</p> <p>・ 場所以外の情報も付け加えるよう促す。</p> <p>・ 生徒のよい発話を全体で共有する。</p>	
20分	<p>【Activity 2】</p> <p>お気に入りの(おすすめの)教室や場所についての紹介動画を録画する。</p> <p>※録画機能(プレゼンテーションソフト)・ 1人1台端末</p> <p>①各自マイクを付け、紹介ビデオを撮る。</p> <p>②紹介ビデオをペアで共有する。</p> <p>③ペアで録画を見合い、内容面と言語面のアドバイスをし合う。</p> <p>④各自データを教師へオンライン提出する。</p>	<p>・ 紹介したい学校の教室や施設について、下の2つのポイントをおさえて紹介ビデオを撮るよう指導する。</p> <p>※写真に動画を貼りつける機能を使用</p> <p>ポイント1 校内での場所 ポイント2 その他の情報</p>	<p>◎次頁(3)評価</p> <p>・ 相手意識をもたせる。</p> <p>・ 中間指導を適宜行い、表現内容や表現方法を共有する。</p>
5分	【振り返り】 振り返りシートを書く。	・ 本時の目標に照らし合わせて振り返らせる。	
1分	【Greeting】挨拶をする。	挨拶をする。	

(3) 評価

「話すこと（発表）」の思考・判断・表現について（指導に生かす評価）

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)と指導の手立て
中学校を知らない ALT の家族にわかるように、家族にとっておすすめの教室や施設について、情報や自分の考え、気持ちなどを話し、紹介している。	中学校を知らない ALT の家族にわかるように、自分のお気に入りの教室や施設について、情報や自分の考え、気持ちなどを話し、紹介している。	(B)を満たしていない。 →録画映像をもとに、できていなかった生徒に個別支援を行う。生徒の録画を一緒に見ながら、具体的にアドバイスを与える。

7 ICTの効果的な活用について

◎成果と課題

これまで「話すこと」において、普段の授業の中で生徒が発話したことを形に残せないことによる指導の難しさを感じていた。今回、1人1台端末にヘッドセットマイクをつけることにより、周りの音が入ることがなく全員が一斉に端末に向かって話す活動ができた。教師は、全員分の動画を後から確認し、記録に残す評価に役立て、指導と評価の一体化を図ることができた。教師側にとっての利点が大きいだけでなく、生徒自身が自己調整を図りながら、粘り強く言語活動に取り組んだことは、とても効果的だった。本時では、即興性も重要視したことから原稿は作らなかったが、生徒はその場で、自分が何を話したのかを、客観的に振り返ることができた。また、その動画をペアで繰り返し視聴し、評価し合う活動を行うことで、子ども同士の評価も信頼性が高まったと思われる。生徒が、パフォーマンステストまでに自己調整をしながら、様々な表現を身につけていく様子を形として残すことができた。

[生徒が録画している様子]



今回 ALT の家族からのビデオメッセージを視聴したことで、課題解決に向けて生徒の意欲が高まった。1人1台端末の利用により、パフォーマンス課題の設定の幅が広がったことを感じる。

◎成果物の例（生徒の話した学校施設紹介を文字におこしたもの。一部誤りあり。）

(例1)

Hi, I'm ○○. The gym is my favorite place. We can play sports. We use during P.E. classes and during club activity. I in the basketball club. It's fun. It's on the first floor, next to the swimming pool. You like basketball, right? △△ is our P.E. and club activity teacher. She is active and funny. Our junior high school is great. Bye.

(例2)

Hello. Lunch room is my favorite place. I like lunch time. Do you like lunch time? It's on the first floor, near the teachers' room.

We use during lunch time every day. We serve lunch and eat lunch. Let's wash hands before lunch time. Thank you.



[パフォーマンス録画面面]